

## 揖斐農林事務所の普及活動状況 令和5年3月30日現在

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■女性農業経営アドバイザー 西濃ブロック総会

3月14日に西濃総合庁舎において、女性農業経営アドバイザー西濃ブロック総会が開催された。

コロナ禍の影響により、書面での開催が続いていたが、2年ぶりに対面での総会の開催となった。議事は議案どおり承認され、新年度計画も承認された。

令和5年度においては、社会経済活動の正常化が進みつつある中で、県全体研修について揖斐地域の果実共同選果場の研修を中心に企画を進めている状況である。

今後、県全体研修の内容吟味、掘り下げなども含め、アドバイザー活動の支援を行っていく。



【総会の様子】

#### ■かき 揖斐地域果樹産地協議会開催

2月28日に、大野町かき振興会、大野町、J Aいび川、アグリチャレンジ支援センター、揖斐農林事務所で構成される揖斐地域果樹産地協議会が開催された。

昨年度に見直した果樹産地構造改革計画に基づき、令和4年の活動実績について各関係機関から報告があった。また、令和5年の活動に向けて、計画や役割分担を情報共有、再確認した。

産地の高齢化、担い手不足による産地の縮小、温暖化による着色遅延等の課題があり、課題解決に向け関係機関が一体となって活動支援していく。



【会議の様子】

### ぎふ農畜水産物のブランド展開

#### ■令和4年度麦作、豆類共励会表彰式 揖斐の2生産者が表彰

3月15日に令和4年度麦作、豆類共励会の表彰式がJ A会館にて開催され、麦作共励会では揖斐川町の（農）まるよし農園、豆類共励会では大野町の（農）古川ファームが表彰を受けた。

（農）まるよし農園は排水対策を徹底し、過去最高の収量を上げ、品質面でも全量1等となったことが評価されました。

（農）古川ファームは適期播種の徹底により、令和3年度に続き、4年度も地域平均の2倍以上の収量を上げたことが評価された。



【麦作、豆類共励会表彰式】

## ■いちご 中間目揃え会の開催

管内の各いちご生産組合では、春期の出荷に向けた目揃え会が3月10日、16日、17日に開催された。気温が上昇し、出荷量が増加する3月～4月の品質保持のため、市場側から着色基準の順守について依頼があった。農業普及課からは、過熟果対策や春期の管理について情報提供を行った。最近では気温も上がってきており、出荷量も増加する見込みで、今後も高品質なイチゴを継続出荷するため支援を行っていく。



【目揃え会の様子】

## ■花き 施設園芸省エネ設備導入支援事業による制御施設等導入

国際情勢の悪化も重なり、燃油の価格高騰が続いている。冬期加温に燃油を使用する施設園芸農家は、経営費に占める燃料費の割合が高く、燃油価格高騰の影響を大きく受けている。揖斐郡内でも施設園芸省エネ設備導入支援事業により内張カーテン施設や環境制御装置などの省エネ機器が導入され、3月22日に確認検査を実施した。

今年度は、2月以降は高温傾向となり桜の開花なども観測史上最速になるなど、燃油の消費量も例年より少なくなっているが、経営負担軽減の一助となっている。



【制御装置の設置】

## ■茶 美濃いび茶振興総会

3月10日に池田町役場において、美濃いび茶振興会総会が開催された。今年度は対面での開催となり、議事は全て承認された。これまではコロナ禍により、振興会の活動は自粛傾向で、制約のかかった消費宣伝活動が多かった。令和5年度は、社会経済活動が正常化に戻りつつある。より一層の安全安心な茶生産に向け、組織体制の強化等により振興会一体となり、美濃いび茶の積極的なPR活動をしていくこととなった。

農業普及課では、今後も茶園管理・荒茶加工等の改善に向け支援を行っていく。



【総会の様子】

## 中山間地域を守り育てる対策

### ■春日はるな 飛騨・美濃伝統野菜認証式

3月30日に、岐阜県庁で揖斐川町在来農産物「春日はるな」の飛騨・美濃伝統野菜の認証式が行われ、揖斐川町長とふるさと春日村づくり協議会が出席した。今回の認証で揖斐川町の飛騨・美濃伝統野菜は、先に認証を受けた4品「沢あざみ」「春日きゅうり」「春日豆」「こんぶり」と併せて5品目となった。認証式後に、両宮農政部長と、揖斐川町の特産物の振興について意見交換が行われた。揖斐川町では、飛騨・美濃伝統野菜の他、旧徳山村固有種の「徳山なんば」の振興にも力を入れており、多品目の地域資源を生かしたブランド化に期待が寄せられた。



【認証式の様子】